

野菜産出額1位の茨城県銚田市との 「野菜」をきっかけにした包括連携協定の締結について

「日本で一番やさいをつくる街」である茨城県銚田市と、「自然を、おいしく、楽しく。」をブランドステートメントとして「野菜の会社」を目指すカゴメ株式会社(代表取締役社長:山口 聡、本社:愛知県名古屋市)は、共通の強みである「野菜」をキーワードに、地域課題の解決と市民の野菜摂取量の向上の双方を目指した共同での取組みを加速するため、本日、包括連携協定を締結いたしました。

<連携事項> 各項目には、今後実施に向けて検討するものも含まれます。

1. 市民の野菜の摂取量拡大に関すること
 - ・ 銚田市の地域課題を「野菜」をきっかけに解決する手段の検討と実施
 - ・ 銚田市内各所への「ベジチェック®」の設置
 - ・ 銚田市の様々な事業(子育てカフェ事業など)における野菜に関する情報提供
2. 健康寿命の延伸に関すること
 - ・ 市の健康診断における「ベジチェック®」の活用および食事などの生活習慣の指導に関する取組の推進
3. 銚田産の野菜の消費および価値向上に関すること
 - ・ 「野菜を学び楽しめる」かつ「銚田産野菜のPRが行える」連携の場の常設
 - ・ 銚田市の野菜を用いたレシピコンテストの実施
4. 持続可能な地域の実現に関すること
 - ・ 「ベジチェックコンテスト」をきっかけにした地域の繋がりのづくり
 - ・ 高校生と協力した、野菜を介した地域の繋がりのづくり
 - ・ 銚田の野菜を活用した世代間交流の場づくり
5. 農業振興・地方創生に関すること
 - ・ 野菜および本取組のPRIによる市民のシビックプライドの醸成
 - ・ 銚田産の野菜および本取組のPRIによる銚田産野菜の価値向上
6. 防災と災害時の物資供給支援に関すること

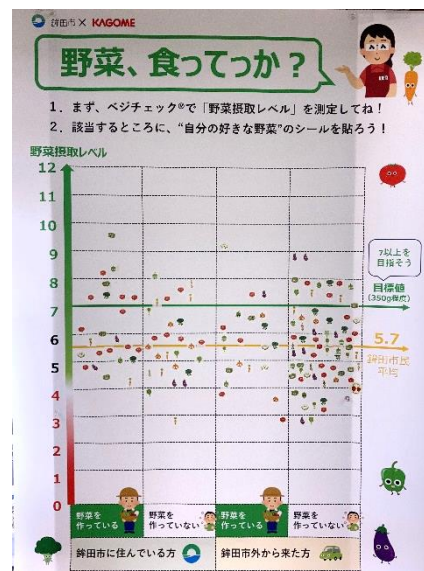


左 茨城県鉾田市市長 岸田 一夫 / 右 カゴメ株式会社 取締役専務執行役員 橋本 隆

<これまでの取組み事例>

2020年から当社は、「野菜産出額1位」※1の鉾田市とともに、市の様々な地域課題を解決する活動の中に野菜を取り入れることで、地域課題の解決と鉾田市民の野菜摂取量増加の双方を目指した活動を行っています。例えば本年の野菜の日(8月31日)から、鉾田市の産直である「さんて旬菜館」を「野菜を学び楽しめる場」にするための取組みの第1弾として、「ベジチェックコンテスト」※2を開始しました。

■ さんて旬菜館での取組みの一例



そして、さらなる連携強化により活動を加速させるため、今般、以上の包括連携協定の締結に至りました。

※1 農林水産統計「令和2年市町村別農業産出額」

※2 さんて旬菜館来店者に、野菜摂取量を推定できる「ベジチェック®」で自身の野菜摂取レベルを測定し自覚していただき、その後鉾田市の美味しい野菜を食べて数値の上昇を競っていただく取組み

<報道機関様むけのお問い合わせ先>
 カゴメ株式会社 経営企画室 広報グループ 北川・堀江 TEL:03-5623-8503